

争へ 粉習演共同米日 富士北11.15 奪還地会入 砕・入会地奪還

日刊 勤労千葉

81.11.12

No. 893

国鉄千葉動力車労働組合

千葉市要町二一八(動力車会館)
(鉄電)二九三五ノ六(公衆)三三三三二七二〇七

不屈の反戦の若、北富士・三里塚で勝利を!

入会地奪還・日米共同演習粉碎闘争が11月15日現地北富士で叫びられます。我々は、米帝レーガンの戦争排発策動による日帝の軍大化ノ改憲攻撃と加えて、日帝が体制危機ゆえの為にその生きる道として侵略戦争へうって出るといふ、この為には、すべての人民を犠牲にするという、こうした、暗黒と反動の攻撃を断固として粉碎しなければならぬ。北富士に於ける日米共同演習こそ戦争準備のための自衛隊の侵略軍隊化であり、実戦訓練そのものである。と同時に、忍草農民への暴力行使をもつてする圧殺攻撃である。三里塚・北富士を結ぶこの日帝の軍事大國化ノ改憲攻撃こそ、日帝の全体重をかけた攻撃であり、だからこそ、三里塚闘争を基軸に沖繩をはじめ全国の基地闘争、反核、反戦の戦列を固め、拡大し、叫びに決起するものである。その為には、十一月十五日北富士闘争に決起しようではありませんか。

侵略軍隊づくり「日米共同演習」

日本帝国主義が危機打開のために、延命してゆくために、みずからの(にぎりの資本主義者)のために、朝鮮・アジアに向っての侵略戦争にうって出る、つまり、今日の軍事大國化ノ改憲攻撃をおし進めている、軍備増強ノ戦争準備ノ憲法を改定して、国民を総動員する、今年度、「防衛自衛」にまこと、「守るべきものは、国民であり、国土である」と同じく、多様な価値観を有する国民にそれを実現するため、最大限の自由を与え得る国家体制である。「我々国民は、不正な侵略から自由な平和な生活、経済的繁栄ある美しい国土を守るため最善の努力を尽さなければならぬ。これは国民一人一人の務めである」とよく言ったものです。「自由な平和な生活」「美しい国土」虚偽に満ち満ちた、言葉を並べ、本音は「守るべきは国家体制」であり、国家の為には国民は犠牲になれ」という詭計です。

更に、「美しい国土」など言いつながら、自らが、国家権力を総動員し、三里塚・北富士などを暴力的に破壊しつくし、そこに存在する、住民・農民などは、殺してもかまわないという詭計だ。こんなことがどうして許されるか。住民・農民から「自由で平和な」生活を奪い取り、住民・農民から土地を強奪する、そして侵略戦争をおこなうという、いったい誰のための国家体制か、明々白々である。そのために朝鮮戦争を想定した、日米共同作戦計画の、実戦訓練であり、この演習は、数十万の日米の両軍が富士一帯を武装制圧し、富士の美しい原野を破壊し尽くす、ものである。

これが、北富士の日米陸軍共同演習のすべてである。

「富士を戦争と侵略の基地にするな」

戦後35年間、不屈に叫び続ける忍草農民

われわれは、三里塚闘争を基軸にすえた、労働運動、反戦闘争の真価を叫びつづけているものとして、この北富士闘争に決起しなければならぬ。

北富士闘争の中心的担い手である忍草農家の渡辺喜美江さんの言葉の一部を引用すると、「日米共同演習を始めようとしているが、それには絶対反対です。この北富士を戦争と侵略のための軍事基地にしようということですからね。私達は、それを絶対許してはならない。私達の願いは、基地をなくして、ここを昔の平和な村にし、土地をとり返して、百姓をして生活して行きたいのです。そのことを一番大事にして叫んでいますから、権力に対しては絶対的に頭を下げない。どんな事があったても村のために向う。自分個人の向うではないのですから。政府はこの土地を奪って戦争の基地にして村を分裂させようとしています。私達は絶対に負けない!」

この言葉に我々は、階級闘争に絶対的責任をもつ者として断固答えなければならぬ。

11.15北富士闘争に、三里塚二期決戦との結合をもつて決起し、叫びぬこうではないか。

11.15 現地総決起集会

北富士永久強奪の日米共同演習粉碎

日時 11月15日(日)正午 主催 忍草農家の会

場所 北富士演習場内 北富士

(集会後、富士古田市内へ)

※勤労千葉集合同日8時、動力車会館へバスにて出発。